

大雨!!

土砂災害・河川の氾濫から命を守るための

自主避難計画

箕輪町

福与区 防災マップ



これは私たち福与区民が、大雨による土砂災害や河川の氾濫から自ら命を守るために作成した自主避難計画です。必ず目を通していただき、有事の際にどのような避難行動をとるべきか考えておきましょう。

非常時持出品

避難時にまず持ち出す物

●生活用品

- ☐ 衣類・下着
- ☐ タオル
- ☐ ティッシュ
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ・予備電池など
- ☐ 携帯電話の充電器・予備電池

●貴重品

- ☐ 現金
- ☐ 通帳・印鑑
- ☐ 権利証書
- ☐ 健康保険証など

●非常食関係

- ☐ 飲料水
- ☐ 乾パン・アレルギー対応食品
(必要な方)
- ☐ 紙皿など食器

●救急医療品

- ☐ 傷薬・包帯・絆創膏
- ☐ かぜ薬・胃腸薬
- ☐ 常備薬



非常時備蓄品

災害復旧までの数日間(最低3日)分準備する物

●生活用品

- ☐ 毛布・寝袋
- ☐ 新聞紙・ナイロン袋
- ☐ 洗面用具
- ☐ 鍋・やかん
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ 筆記用具
- ☐ 軍手・バケツ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 電源の不要なストーブ・予備燃料

●非常食

- ☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
- ☐ 保存食(缶詰やレトルト食品など)
- ☐ チョコレートなどの菓子類
- ☐ 調味料など

●燃料

- ☐ 携帯(卓上)コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ 固形燃料



「わが家」に応じた「無くてはならない」ものを準備しましょう。

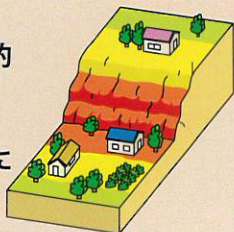
土砂災害

前触れ（予兆現象）

土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときに次のような状況を発見したら、自治組合長に報告し、すぐに避難準備を開始してください。

がけ崩れ

急な斜面で突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるため、避難が遅れがちになります。

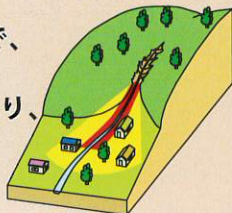


前ぶれ

- ・がけから水が湧き出る
- ・がけから小石がぼろぼろ落下する
- ・湧水が止まる、にごる
- ・がけから小石がぼろぼろ落下する
- ・亀裂の発生
- ・地鳴りや木根のちぎれる音や、岩の割れる音などがする

土石流

谷筋で起きるので、土砂などが水と一っしょに流れ下り、スピードが速く大きな破壊力を持っています。



前ぶれ

- ・山鳴り・地鳴りが聞こえる
- ・流木の発生
- ・溪流内の転石の音
- ・水位の急激な低下
- ・ものの腐ったような臭い（腐葉土、下肥の臭い）がする

地すべり

一度に広い範囲の地盤が動き出すので、速度はゆるやかですが、発生すると大きな被害をもたらします。



前ぶれ

- ・地面にひび割れができる
- ・井戸や沢の水がにごる
- ・がけや斜面から水がふき出す
- ・樹木が傾いたり倒れたりする

土砂災害防止法の警戒区域・特別警戒区域

土砂災害のおそれがある区域を「土砂災害警戒区域」と呼びます。その中でも家屋を破壊し、人命に危害が生じるおそれのある区域を「土砂災害特別警戒区域」と呼んで区別しています。これらの区域は、長野県が砂防基礎調査を実施した後、市町村長の意見を聞きながら県知事が指定し、県民の皆さんに公示しています。

警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害のおそれがある区域

危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

特別警戒区域（レッドゾーン）

建物に損害が生じ住民に著しい危害が生じるおそれがある区域

特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。

風水害の基礎知識と備え

提供：気象庁

雨の強さと降り方の目安

※1時間あたりの雨量が少なくても、長く降り続く場合は、連続雨量 150mm を目安に注意が必要

やや強い雨

強い雨

激しい雨

非常に激しい雨

猛烈な雨

1時間
10～20mm未満

1時間
20～30mm未満

1時間
30～50mm未満

1時間
50～80mm未満

1時間
80mm以上

ザーザーと降り、地面からの跳ね返りで足元が濡れる。

どしゃ降り、傘をさしても濡れる。

バケツをひっくり返したように降る。

滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。

息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。



風の強さと吹き方の目安

やや強い風

強い風

非常に強い風

猛烈な風

風速
10～15m未満

風速
15～20m未満

風速
20～30m未満

風速
30m以上

風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。

転倒する人もでる。高所作業はきわめて危険

自立が困難。飛来物によって負傷する恐れがある。

多くの樹木が倒れ、電柱や街灯で倒れるものがある。走行中のトラックが横転する。屋外での行動は極めて危険。



いざというときの自主避難基準

福与区の事前避難所（原則）

福与公民館・箕輪南小学校

または

親戚、友人宅など
地区内に限らずより安全な場所

福与区の緊急避難所

福与公民館・箕輪南小学校・自宅

ジャパンロジスティクス(株)

福与公民館や箕輪南小学校が定員に達したときや災害が発生し、ほかの避難所に避難できない場合などに開設される緊急避難所

避難の種類

事前避難

巨大台風の襲来が予想される場合や、梅雨時等の長雨が続いた時、安全に移動できる段階で避難が必要と判断した場合。

<例> 高齢者、障がい者、病人、妊婦などがある家庭

避難先としては福与公民館・箕輪南小学校のほかに親戚や友人宅など地区内に限らずより安全な場所が考えられる。



緊急避難

ゲリラ豪雨が発生した時などで土砂災害や河川の氾濫の危険が高まった場合。遠くまで避難することが危険な状況の時。

避難先としては上記避難所のほかに自宅や近隣のお宅の上層階など、周辺の状況に応じて各自で自宅周辺の比較的安全な場所へ避難。

自主避難のステップ

- 1 雨が降り出したら、住民は箕輪町雨量観測情報（箕輪町公式サイト【観測所：福与公民館】）や、バケツ・ワンカップなどによる簡易雨量計に注目し、付近の河川の水位や流れに異常がないか注意する。
<例> 河川の増水、雨が降っているのに川の水位が下がる、川からゴロゴロ石の流れる音が聞こえる。水路から水があふれるなど

- 2 雨量が下記の目安を超えたり、河川などに異常がみられる場合は、報告体制にしたがい、報告する。

雨量の目安

1 時間雨量: 20mm / 24 時間雨量: 200mm

報告体制



※事前避難が必要と判断した場合は避難を開始。

(区長は箕輪町役場総務課へ連絡する。☎0265-79-3111)



- 3 区長は、集まってきた情報に基づき自主避難をうながす旨を、連絡体制にしたがい住民に連絡する。
(終了後、区長は箕輪町役場総務課へ連絡する。 ☎0265-79-3111)

連絡体制



箕輪町役場 総務課
TEL 0265-79-3111

- 4 住民は、緊急避難所への避難を原則とするが、避難が困難と判断した場合は、少しでも安全な場所への避難を開始する。

<例> 自宅内避難（上層階、山側から離れた部屋）、近隣住民宅

避難指示で必ず避難

警戒レベル	新たな避難情報等	
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1 命の危険!! 直ちに安全確保
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~		
4	  災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示※2</b>   <b>危険な場所から 全員避難!!</b>
3	  災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難※3</b>   <b>危険な場所から 高齢者等避難!!</b>
2	  気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	  今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 箕輪町気象観測情報

箕輪町では箕輪町役場などの町内公共施設等に簡易雨量計を設置し、時間毎の気温や降水量、風向きといった情報を計測しています。

箕輪町公式サイトの「気象観測情報」のページからそれらの情報を確認することができます。



### ◆箕輪町 気象観測情報

<https://minowa.mate.ne.jp/weather/>

※携帯電話の場合、機種によっては表示できない場合があります



もみじちゃんメールで配信されていた町からの情報が、令和3年4月からスマートフォンのアプリで受信する方法に変わります。防災行政無線の音声もアプリで受信することができますので、登録をお願いします。

### スマートフォン版はこちら

こちらのQRコードを読み取り、アプリをダウンロードしてください。  
最初に利用登録（新規登録）をお願いします。



### 従来型携帯電話版はこちら



従来型携帯電話版



↑  
QRコードを読み取り登録できます。